



【先週 5月31日～6月6日の外食の出来事】

■ペッパーフード、エスフーズ社長個人から20億円借入

ペッパーフードサービスが、同社の株主であり、主要仕入先であるエスフーズ株式会社の代表取締役 村上 真之助氏個人から20億円を6月1日に借り入れた。有担保・無保証で、返済は2か月後の7月31日の予定とする。

■寿司チェーン「寿し常」、自己破産 内26店舗を東京一番フーズが買収

寿司チェーン「寿し常」を展開する株式会社豊田が自己破産を申請する。内、首都圏26店舗を、「とらふぐ亭」を運営する株式会社東京一番フーズが6月1日付けで取得した。負債総額は約44億円。

■ウェディングのひらまつ、赤字19億円でマック出身社長に交代

高級レストランやウェディングを展開する株式会社ひらまつが、業績悪化を受け、代表取締役をマクドナルド出身の遠藤 久氏に異動させる。新型コロナウイルスによる営業を2月中旬頃から受け、最終赤字は19億53百万円。

■ワタミ「から揚げの天才」、24店舗FC出店 テイクアウト売上9割でコロナバブル

ワタミが、「から揚げの天才」をFCで7月までに24店舗を出店する。総店舗数は30店舗となる。、「カラオケまねきねこ」を展開する株式会社コンダカと3月にFC契約を締結し、郊外ロードサイドの「まねきねこ」に併設して出店。

■「塚田農場」一部居酒屋を定食屋『つかだ食堂』に “コロナ”で業態変更

新型コロナウイルスの感染拡大により、消費者の生活様式が大きく変わることを見据え、「塚田農場」などを運営するエー・ピーカンパニーが新たに食堂業態を、「塚田農場」の一部店舗を業態変更する形で「つかだ食堂」を展開。

■マック、5月既存店15%増収

マクドナルドの5月の既存店売上高は前年同月比15.2%増えた。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、中旬まで全店で店内利用を中止していたが、まとめ買いが多い持ち帰りやドライブスルー、宅配の利用が堅調だった。

■ゼットンOB、内山氏のイマジニアが破産

日本橋のコレド室町テラスでグルテンフリー寿司「ににぎ」を出店したばかりの株式会社イマジニアが、東京地裁より破産手続き開始決定を受けた。代表の内山 昭氏は株式会社ゼットンの元取締役総料理長。

■東京一番フーズ、上半期(令和元年10月～令和2年3月)の連結業績 減収減益

令和2年9月期 第2四半期の連結業績は売上高25億2000万円(対前年同期比10.7%減)、営業利益1億1800万円(同72.3%減)、経常利益1億2100万円(同71.9%減)、四半期純損失700万円(一)であった。

■鳥貴族、最終赤字1.53億円 8～4月単独 臨時休業が打撃

鳥貴族が5日発表した2019年8月～20年4月期の単独決算は、最終損益が1億5300万円の赤字(前年同期は3億1000万円の黒字)だった。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国内店舗の臨時休業が響いた…。